

「地域活動の熱狂ライブ！」

テラロックから考える ネットワークの価値



そもそも「テラロック」とは・・・

⇒「寺西ロックフェスティバル」の略称



「テラロック」の魅力 その①

⇒組織・肩書・筋書が無い場！

お問い合わせ



寺西康博まで



組織や肩書を超える心理的安全な場（部活）を地域に設けたこと
また、筋書が無いことによるドキドキ感が魅力



「テラロック」の魅力 その②

⇒ 自由な学びの場・気づきの場！



今ある枠組みでは得にくい、または得られない「知識」「経験」を得る場所
枠組みから離れたオープンな場の強みが魅力

「テラロック」の魅力 その③

⇒本人が一番楽しんでいる！



「自分が楽しめるか、心の底から楽しめるか」を大切にしていること
楽しむことで純粹たる熱量を生み出し、それが周りの人へ伝播している

「第5回 金融テラロック ～疾風勁草、試される金融～」にて

(オンライン開催)



「見えない未来を信じる力」の重要性を認識した
「できるかできないかではなく、何をやりたいか。それが一番大事」

「第5回 金融テラロック ～疾風勁草、試される金融～」にて

(オンライン開催)



「見えない未来を信じる力」の重要性を認識した
「できるかできないかではなく、何をやりたいか。それが一番大事」

「第5回 金融テラロック

～疾風勁草、試される金融～」にて

(オンライン開催)



「見えない未来を信じる力」の重要性を認識した
「できるかできないかではなく、何をやりたいか。それが一番大事」

テラロックに寄せられた声

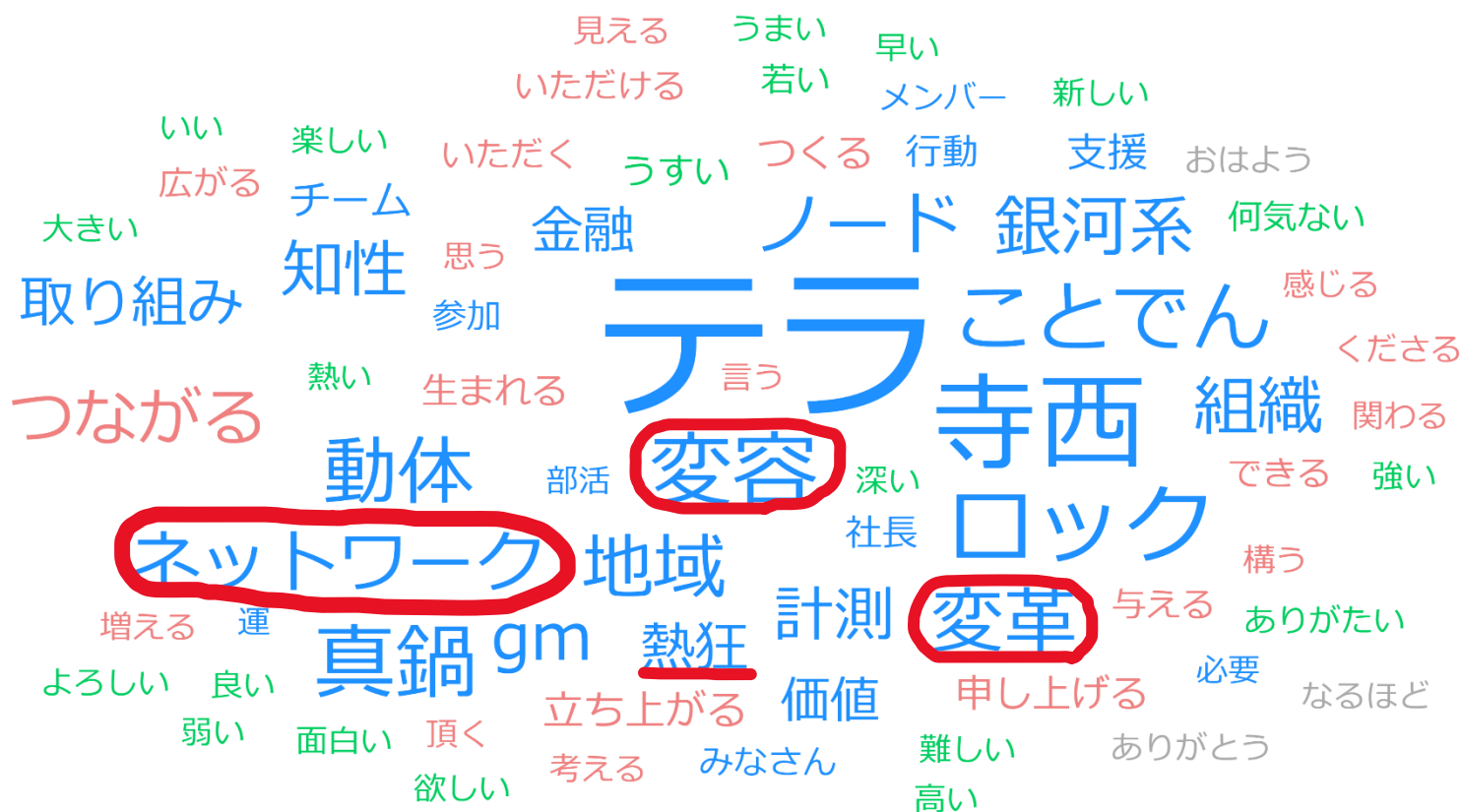
・テラロックを通して、自分らしく生きてもいいんだ！と同調圧力の組織で苦しんでいた私は、思考の転換を頂きました！テラロックのメンバーの方達と出会えたことは、大げさではなく、自分の人生を救って頂いたように思っています。・テラロックだから生まれたことは寺西さんが好きな人どうしのネットワーク、それを起点に大小様々な動きが生まれていることに尽きるんじゃないかなーと思いました！・人と人の出会いの場をつくったこと。意見を交わす場をつくったこと。「場をつくる」というのは、大事なことだと思います！場の存在が、最大の価値です！・人と人をつなぎ、自分の価値に気付かせるテラロック・会ったことのない人同士の魂を揺さぶるのが「テラロック」・金融、管財事務中心とされていた財務局の活動の幅を目に見える形で広げ、全国各地で類似の取り組みが立ち上がった。地域連携を動機に財務局を志望する学生が増え、活動の幅が拡大したことによる現役職員のモチベーション向上につながった。・少し若くなった。若い頃のやんちゃな気持ちを思い出した。香川県に親友が出来た。目に見えない価値や数字に置き換えられない価値である程、高い価値である。・脳内のリミッターを外す体験ができる場として価値がある。・一つめは、自分の居場所がちゃんとあると思える安心感を与えてくれる場。二つめは、気の置けない信頼できる仲間と取り組める喜びを感じられる場。私にとって、テラロックとは、一人ひとりの存在意義を見出せるコミュニティだと感じています。・参加する者の志に点火する熱き想いが寺ロックと思います！鎌倉にも火をつけて下さいました！・テラロックは、すでにある枠組みでは得にくい、または得られない「知識」「経験」を得る場所と思います。それが、枠組みから離れたオープンな場の強みと考えます。テラロックは、「自由な学びの場・気付きの場」なのかもしれません。・地方でチャレンジする者は後ろ指を指されることがよくある。チャレンジする者、1人の人間として俺がサポートする。だから、地域で批判する方々、この行動を惹起する俺を批判してくれ。チャレンジする者は俺が守るから、俺の背中を見ろ！あえて出る杭になる！言葉には出さないものの、そう感じました。・テラロックから生まれた価値、ご縁、に尽きますね。寺西さんは熱い想いもありながらアウトプットもされつつ、人の想いや考えを引き出されるのがとても上手だなあと考えていて、引き出していただいた人達が、お互いを知るハードルをグッと下げてもらえることで縁を結びやすくなる、そんな気がします。・端的に言えば、組織や肩書を超える心理的安全な場（部活）を地域に設けたということ、です。こうした場（部活）は、組織経済がどうすることもできない問題に対処できる可能性がある。例えば、こうした繋がりがあから「地域に移り住もう」「地域から離れるのを辞めよう」「地域に戻ろう」「地域に今すぐ住む訳ではないが関係人口になろう」「こういう面白いことをやってみよう」「こういう面白いことがあるんだ。顔を出してみよう」という可能性の選択肢が広がります。組織と組織の業務提携ではどうにもなりません。加えて、こうした場（部活）は、挑戦する人を応援する場にもなり得ます。では実際に移住が増えたのか、県外流出を何人防いだのか、関係人口を何人増やしたのか、ベンチャーや独立に挑戦する人が何人増えたのかという問題ですが、目先の数字を追うことにはあまり意味がありません。「できていないじゃないか」と、勝手に自暴自棄に陥ったり、場（部活）を誹る必要はありません。また、こうした場をつくろうとせよ、あれこれ言う外野の声も無視すればよいと思います。「こうしたらいい」という建設的な声、批判には耳を貸すべきですが、場であろうと、組織であろうと、知性の蓄積は計測できません。ドラッカーも指摘しています。ひたすらに、面白い人を発掘し、クローズアップし、みなさんに紹介することで。・・・etc



⇒ 結論 「なんかすごい」

・テラロックを
出会えたこ
ワーク、それ
場をつつた
ラロック・会
全国各地で
ベーション向
換えられな
思える安心
存在意義を
た！・テラロ
の強みと考
チャレンジす
が守るから、
寺西さんは
達が、お互
場（部活）
こうした繋
ういう面白
どうにもなり
いだのか、良
味がありま
あれこれ言
ろうと、知性
す。・・・et

の方達とのネット
を交わす
けるテ
で広げ、
員のモチ
に置き
んとあると
人ひとりの
いまし
ーブンな場
にある。
る者は俺
きますね。
だいた人
的安全な
例えば、
なろう」「こ
提携では
を何人防
あまり意
ともせず、
組織であ
ことで



AIテキストマイニングより



お困りの事があれば

お近くのテラロックまで

「あなたの心を超ロック！」

「熱狂以外になにが要る！」

「挑戦する人を全力で応援したい！」

「あなたの心に火を灯します！」

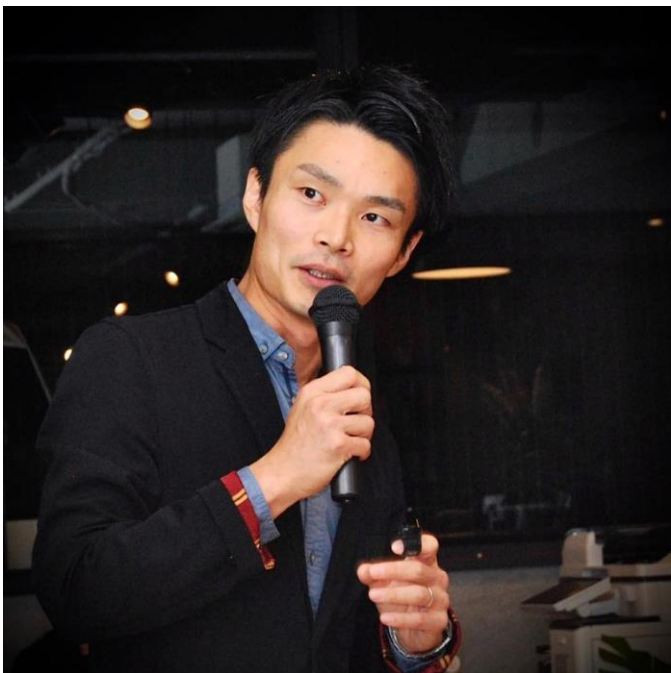
「ようこそ熱量の源泉へ！」

「人と人をつなぎ、自分の価値に気付かせる」

「50年続くやつの3年目です！」

「テラロックネットワークの集合知」で

社会課題の解決へ立ち向かう！！



自己紹介

寺西 康博（てらにし やすひろ）

35 歳

高松市出身（実家はさぬきうどん店）

2008年 財務省四国財務局（予算編成、金融、自治体財政 等）

2019年 多様な人が集まる交流会「テラロック」

内閣府主催 地方創生☆政策アイデアコンテストで
最優秀賞（第1位）にあたる

地方創生担当大臣賞を2年連続で受賞



2017年12月
小豆島×迷路民泊×空き家
香川大学生とコラボ
647件の頂点



2018年12月
花で彩る吉野川市の未来
吉野川市役所とコラボ
604件の頂点

KSBスーパーJチャンネル ニュース コメンテーター

地域情報誌 で連載

個人

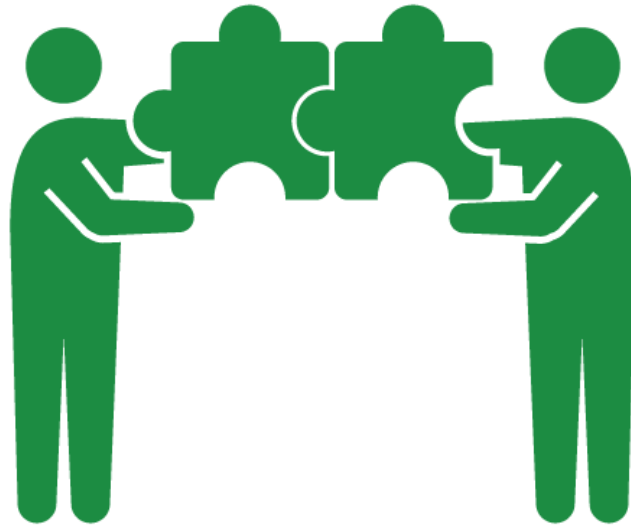


イノベーション交流会主宰 寺西 康博さん
高松市出身の国家公務員 実家はうどん店
多様な意見を交わす「テラロック」を開催





共感が生まれ、行動が変わる場





一步を踏み出す



一歩を踏み出し、
場やネットワークを
つくることの価値